

国際交流 Newsletter

2017年 8月号

発行 延岡市役所総務部国際交流推進室（総務課内）（国際交流員：カリナ・ブリス）

〒882-8686 延岡市東本小路2-1 T e l . (0982) 22-7006 M a i l : kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

祭り ・ Festivals ・ Feste



写真：Andrew Gibbs

2017年のまつりのべおか

Als ich im August vor einem Jahr nach Nobeoka gekommen bin hatte ich das Ende Juli stattfindende Sommerfest der Stadt, das „Matsuri Nobeoka“, genau verpasst. Zu diesem Zeitpunkt haben aber noch viele meiner neuen Bekannten vom Fest gesprochen und ich habe auch einige Fotos gezeigt bekommen. Damals schien das nächste Fest noch sehr lange entfernt, nun ist es aber schon wieder gerade vorbei und endlich habe ich auch teilnehmen können.

Und wie es der Zufall so wollte war das Fest in diesem Jahr ganz besonders, denn zusätzlich zum abendlichen Bon-Tanzen gab es eine ganz spezielle Aktion: die Bürger der Stadt haben sich vorgenommen, einen Guinness Weltrekord aufzustellen! Es sollte der Bon-Tanz mit den weltweit meisten Teilnehmern werden. Bisher lag der Rekord bei 2130 Personen und diese Zahl wollte Nobeoka überbieten.

去年の8月に延岡に来た時、新しく知り合った人々が7月末にあったまつりのべおかの話をして、祭りの写真も見せてくれました。その時から、あっという間に1年がたちました。そして、今年の7月、まつりのべおかによやく参加できました。

偶然にも、今年の祭りはいつもより面白かったです。毎年行えば踊りの他、今年だけの特別なプロジェクトがありました。それはギネス記録の達成を目的としたばんば踊りです。世界一の人数で踊る盆踊りです。以前のギネス記録は参加人数2130人でしたので、それより多い人数で踊らないといけませんでした。

Und so versammelten sich 2748 Personen, um an einem Samstag im Juli gemeinsam zum Tanzen. Die richtigen Tanzbewegungen kennen die Einwohner Nobeokas in der Regel seit ihrer Kindheit, aber für mich, die zum ersten Mal am Fest teilnehmen konnte, war Bon tanzen etwas ganz neues. In jedem anderen Jahr wäre das wohl kein Problem gewesen und selbst ohne den Tanz zu kennen, hätte die Teilnahme sicher Spaß gemacht. Aber beim Weltrekord-Versuch durften nur 5% der Teilnehmer Fehler machen!

Aber auch an Leute wie mich, die den Bon-Tanz der Stadt Nobeoka nicht kennen, war gedacht worden und die Organisatoren des Festes veranstalteten im voraus an mehreren Abenden Termine zum Üben, bei denen die Tanzbewegungen erklärt wurden. „Der Tanz ist ganz einfach“ wurde mir vorher gesagt. Im ersten Moment sahen die Bewegungen dann aber doch sehr schnell und kompliziert aus. Nach zwei Stunden Üben schien die fehlerfreie Teilnahme dann aber machbar und alle Lernenden waren froh, die heiße Übungshalle verlassen zu dürfen.

Am Tag des Matsuri Nobeoka mussten dann alle Teilnehmer Yukata und Geta (Holzschuhe) tragen und 5 Minuten lang synchron tanzen. Viele der Teilnehmer haben die Möglichkeit ergriffen, sich einen Yukata für das Fest auszuleihen. Diese Leih-Yukata schienen aber der Kategorie „Business Hotel“ bzw. „Onsen“ Yukata anzugehören und man hatte das Gefühl, sich in einem solchen zu befinden. Trotz der Hitze des Tages und langer Wartezeiten hat die Teilnahme am Bon-Tanzen aber großen Spaß gemacht und dass wir gleich im ersten Versuch den Weltrekord geschafft haben, ist natürlich eine große Belohnung! Das Matsuri Nobeoka 2017 wird mir sicher in bester Erinnerung bleiben.

そうして、まつりのべおかの開催日には2700人以上も集まりました。延岡出身の人はばんば踊りの踊り方を子供の頃から知っていますが、私のように初めて参加する人にとっては、ばんば踊りの正しい動き方を覚えることはチャレンジでした。今年以外なら、踊り方を知らなくても、何とか楽しみながら参加できそうですが、ギネス記録のためには、参加者の95%が正しく踊らなければなりませんでした。

初めての方も参加出来るようにするために、ギネス記録プロジェクトの企画者が事前にはばんば踊りの講習会を開いてくれました。「延岡のばんば踊りは簡単です」と言われましたが、はじめて講習会で見たとき、動きがはやくて、難しそうでした。2時間ぐらい練習したら、講習会に参加した皆さんが踊りを間違えずに参加できるぐらい上手になり、エアコンがなかった講習の会場からやっと逃げ出すことができました。

祭りの当日、参加者の全員が浴衣や下駄を身にまわって、5分間同時にばんば踊りを踊りました。大勢の参加者がレンタル浴衣を着ましたので、ホテルや温泉に行ったような感じになりました。踊りの前に、暑い中、外で待つ時間が長かったです、参加したことが楽しかったです。ギネス記録（2748人）もすぐ達成できて、本当に良かったです。2017年のまつりのべおかを一生忘れないと思います。



簡単なドイツ語を紹介します！

Fest	フェスト	祭り
Tanz	タンツ	ダンス
Feuerwerk	フォイヤーヴェルク	花火
Hitze	ヒツツエ	暑さ

ドイツ料理コーナー

7月の料理教室でクレス・スープなどを作りました。

クレス・スープ

Kressesuppe

出来上がりの分量：6人前

調理時間：30分

作り方

- 1:
じゃがいもと玉ねぎとニンニクの皮を剥いて、小さく切る。鍋にバター（40g）を入れて、弱～中火で焼く。
- 2:
鍋に白ワインをふりかける。野菜のブイヨンも入れて、15分ほど茹でる。
- 3:
食パンをさいの目に切る。フライパンに残りのバター（15g）をひき、食パンを焼き色がつくまで焼く。クルトンのできあがり。
- 4:
クレス（3箱）とパセリを切って、スープに入れる。サワークリームも入れて、スープの具材をつぶす。
- 5:
レモンジュースを入れて、塩とこしょうとナツメグで味付けをする。
- 6:
残りのクレスを切る。
- 7:
スープを器に入れて、食べる前に3のクルトン（食パン）・6のクレスを上のにせる。できあがり。



材料

玉ねぎ	75g
じゃがいも	3個（大きいもの）
バター	55g (40g + 15g)
ニンニク	1-2欠片
白ワイン	180ml
野菜のブイヨン	1500ml
サワークリーム	75g
パセリ	1本
クレス	4箱（3箱+1箱）
塩	少し
こしょう	少し
ナツメグ	少し
レモンジュース	小さじ2
食パン	1枚



世界のキレイなまちの紹介

スペイン、バレンシア州、バレンシア県

バレンシア

València (スペイン)

人口: 約78万人



今月のニュースレターではスペインのバレンシアと、近くにあるブニョールという小さい基礎自治体(日本でいう市町村)、そしてそこで行われるお祭りを紹介したいと思います。

バレンシアはマドリードとバルセロナに次いでスペインで3番目に人口が多いまちです。マドリードとバルセロナ程有名なまちではありませんが、古い建物が残っている旧市街、美味しい食べ物、文化的なイベント、近代的な建築などが全部そろっている多彩なまちです。まちの中心にトゥリア川が流れていましたが、1957年の洪水がきっかけで川の河床移設を行いました。現在はトゥリア川の旧河床が約8 kmにわたる公園になりました。昔からあった川を渡る橋が今でも残っていますので、車が橋を使って公園の上を渡って行くことができます。公園の中はバレンシアの市民がリラックスできる場所で、遊ぶことができます。運動場や文化センターなどもあります。旧河床にある最も面白いものは90年代から作られている芸術科学都市という科学教育と芸術のための複合施設です。(上の写真) 芸術科学都市の建物の建築がとても面白くて、建物の中だけでなく、外観も見事です。例えば「レミスフェリック」という3Dのアイマックス・シアターやプラネタリウムが入っている建物があります。建物のデザインが人の目に似ていますので「知識の目」と呼ばれています。それ以外に「オセアノグラフィック」というヨーロッパの最大の水族館もバレンシアの芸術科学都市の中にあります。

3月に「ファジェス」と呼ばれているバレンシアの火祭りが行われています。3月の15日から19日までの5日間に開催されます。祭りのメインは近隣の人々が準備する木と張り子で作られた高さ10mを超えるバレンシア風人形となります。ファジェスの最終日の夜には「人形焼き」が行われています。その時、人形が大きなかがり火で燃やされます。

実はバレンシアの近くにあるブニョールにも、面白くて特別な夏祭りがあります。それは8月最終週の水曜日に行われている「ラ・トマティーナ」というトマト祭りです。ただ、「ラ・トマティーナ」はトマト料理の祭りではなく、参加者がトマトを互いに投げ合う祭りです。前夜祭にイルミネーションがあり、人々が飲んだり、ダンスしたりします。祭りの当日には数台のトラックがトマトをまちの中心にある広場に運んできます。観光客にも大人気な祭りとして、約4万人がそのトマトを使って、互いに投げ合うトマトの戦争をします。危害をへらすために、参加者はトマトを投げる前につぶさないといけません。掃除のために、まちが散水車とシャワーが使えるところを用意します。そのおかげで祭りの数時間後のブニョールはとてもきれいです。2004年に「ラ・トマ

食事の戦争

ティーナ」が世界の一番大きいFood Fightとしてギネス登録されました。

バレンシア市の旧市街

芸術科学都市のレミスフェリック



ファジェス祭り

ブニョールのトマト祭り

JETコーナー

今回のALTコーナーでアメリカ出身のアンドリューさんとオーストラリア出身のブレアさんとドイツ出身の国際交流員カリナが祭りについて話しました。ALT以外に、国際交流員も会話に参加しましたので、今回のALTコーナーが「JETコーナー」になりました。（※JET：語学指導等を行う外国青年招致事業、Japan Exchange and Teaching Programme）どこの国の祭りに参加してみたいですか？

Blair: Andrew and Carina, the Matsuri Nobeoka sure was something. Wasn't it?!

Andrew: Yeah, I had a lot of fun. I really enjoyed the Banba Odori!

Carina: It was great, but the weather was really hot that day.

ブレア：アンドリュー、カリナさん、まつりのべおかがとっても良かったよね。

アンドリュー：そう！本当に楽しかったよ。ばんば踊りを見るのも良かった！

カリナ：めっちゃ楽しかったけど、その日は本当に暑かったよね。



ノースカロライナ州の「ミズキ属祭り」

写真：Brooke Carbo (左)、
Stephanie Bruce (右)

Blair: It sure was! Do you have any festivals like this in America, Andrew?

Andrew: We do! In my home state of North Carolina, we have the Dogwood Festival every April. We eat a lot of food and enjoy concerts underneath many dogwood trees, whose blossom is the state flower.

Carina: Is it like Japanese Hanami?

Andrew: Yes, it is. The white flowers bloom every April.

Blair: So when and why did this festival start?

Andrew: The festival started in 1982 in order to improve the image of the city.

Blair: Wow, it must be a busy day for the city.

Andrew: Actually, we have it for 3 days. So many people come and go as they please.

Carina: What's your favorite part of the festival?

Andrew: Well, the day is really fun because there are many local vendors selling food, but the best part is the evening because the day always closes with a concert from a big country music star.

ブレア：確かにそうだった！アンドリュー、このような祭りはアメリカにもある？

アンドリュー：あるよ！例えば故郷のノースカロライナ州では毎年4月に「ハナミズギ祭り」が行われている。ハナミズキの下で食べたり、音楽のライブを楽しめたりする。ハナミズキの花がノースカロライナ州の花にもなった。

カリナ：日本の花見とちよっと似ている？

アンドリュー：似ているよ。毎年4月、ハナミズキの白い花が咲いている。

ブレア：この祭りが初めて開催されたのはいつ頃？

アンドリュー：この祭りは市のイメージをアップするために、1982年にはじまった。

ブレア：市にとって、祭りの日は忙しい一日だね？

アンドリュー：実は、ハナミズギ祭りは3日間の祭り。参加者が行ったり、来たりする。

カリナ：祭りの一番好きな部分は何？

アンドリュー：地域のレストランが料理を売ったりするのもいいけど、一番面白いのは毎晩行われる有名なカントリーミュージックの音楽家のライブだ。

Blair: I know Germany has plenty of festivals. Carina, what's your favorite one?

Carina: So there are famous festivals like Oktoberfest of course, but one of my favorite festivals is a kind of special festival at Kaltenberg Castle. It's a medieval festival, and it has the world's biggest knights' tournament.

Andrew: COOL! What kind of stuff can you do there?

Carina: The day starts with a parade, and in the evening the highlight is the 2-hour-long tournament with hundreds of participants. But besides that there are a lot of music performances on the castle grounds, as well as acrobats, witches, and jesters that walk around and perform. There is also a large market selling traditional crafts and A LOT of food. They also sell Dunkelbier (dark German lager beer) that's brewed in the Kaltenberg royal brewery.

Andrew: So when did the festival first start?

Carina: It started in 1980 as a small festival, and the person who started it was Prince Luitpold of Bavaria.

Blair: A prince? COOL!

ブレア：ドイツにもいろんな祭りがあると聞いたけど、カリナさんの一番好きな祭りは何の祭り？

カリナ：もちろん、オクトーバーフェストみたいな有名な祭りがあるけど、好きな祭りの一つはカルテンベルク城で行う特別な祭り。中世の祭りで、世界で一番大きい騎士のショーも行う祭りよ！

アンドリュー：すごい！この祭りでは何がある？

カリナ：祭りの最初の方にパレードがあるけど、ハイライトは夜の騎士のショーかな。2時間ぐらいかかるショーで参加者が100数十人いる。それ以外にもお城の周りで音楽のコンサートがあるし、曲芸師や魔女や中世の道化師などが演奏するよ。伝統的な工芸品や食べ物を売っているブースも中世市場としてあるし、カルテンベルク城の王室の醸造所のダークビールも飲めるよ。

アンドリュー：祭りはいつからはじまった？

カリナ：1980年に小さい祭りとしてはじまった。祭りを開催したのはバイエルン王家の子孫、ルイトポルト・プリンツ・フォン・バイエルンだったよ。

ブレア：王子？すごいよ！



中世祭りのパレード

中世の市場



夜の騎士のショー

Andrew: Why did he start it?

Carina: He saw a small tournament in London and he wanted to try to do a similar event in Germany. He invited 16 English knights for the first show. Now, before the performance, everyone in the audience performs a big "wave."

アンドリュー：開催されるきっかけは？

カリナ：ルイトポルト王子はロンドンに行った時、小さい騎士のショーを見て、ドイツにも同じようなイベントを作りたくなったんだって。初めてのショーのために、イギリスの騎士16人をドイツに呼んだよ。今は、ショーが始まる前に、祭りに来た人たちが一緒にウェーブするよ。

Andrew: So do they have any festivals like that in Australia, Blair?

Blair: I think we don't have medieval festivals like that, but we do have the mother of all festivals in Brisbane. It's in August and it goes for 10 days straight.

Carina: Oh really? What is it?

Blair: It's officially called the "Royal Queensland Show," but its nickname is "the Ekka," which is short for "exhibition." It originated in 1876 as an industry and agricultural exhibition. And still to this day it exhibits the best of those sections in Queensland. For example, there are livestock competitions, fruit and vegetable contests, cake decoration, and skill contests such as wood chopping. But it has grown so much bigger since the 19th century.

アンドリュー：ブレア、このような祭りはオーストラリアでもやる？

ブレア：同じような中世祭りはないと思うけど、ブリスベンに最も素晴らしい祭りがある。8月に行う10日間連続の祭りだよ。

カリナ：本当に？それは何の祭り？

ブレア：祭りの公的な名前は「ロイヤル・クィーンズランド・ショー」だけど、あだ名は「エッカ」。それはエキシビションから作られたあだ名だよ。工業・農業の展覧会として、1876年にはじめて開催された。現在でもクィーンズランド州の最も盛んな工業と農業を展示してるよ。例を挙げると、家畜のコンテスト、果物と野菜のコンテスト、ケーキ飾り、そして薪割りなどの技能に関するコンテストがある。エッカ祭りは19世紀からすごく大きい祭りになったんだ。



エッカのショーバックが昔からありました。(1946年の写真)



エッカのサイドショー路地

Cozzie1996/Wikimedia Commons/CC-BY-SA 4.0

Andrew: In what ways has it gotten bigger?

Blair: The Ekka now features rides, over 21,000 competition entries to various contests, an average of 10,000 animals, fireworks, a showbag pavilion and sideshow alley.

Carina: What's a showbag pavilion?

Blair: Showbags contain food, candy, and novelty items sold in a bag. Companies use it to display their products for a reduced price. In 2015 there were 362 different types of show bags with prices ranging from \$1 to \$108.

Carina: That sounds expensive! How much is that in yen?

Blair: 111 yen to 11,972 yen. They can be pretty expensive!

アンドリュー：どのように大きくなった？

ブレア：現在のエッカ祭りには乗り物もあるし、21000人以上がいろんなコンテストに参加する。家畜は約10000頭だよ。そして花火やショーバックのテントやサイドショー路地もあるよ。

カリナ：ショーバックのテントって・・・？

ブレア：ショーバックとは食べ物やお菓子や新商品などが入っている袋。企業がショーバックとして、紹介したい商品を普通の値段より安く売っている。例えば2015年はショーバックが362種類で、値段は\$1～\$108だったよ。

カリナ：高そうね。円で言うと、いくらぐらいになる？

ブレア：111円から11972円までになる。高値な袋があるね。

Andrew: And what about the sideshow alley?

Blair: Well, back in the day it would actually feature magicians, strongmen, and circus performers. Nowadays it has animal parades, rides and festival food like hot dogs and French fries. It's so popular that the city of Brisbane has a public holiday on the 7th day of the festival, called People's Day. An average of 400,000 people visit over 10 days. Even schools take kids to the shows during class to learn about the history of the state.

Andrew: COOL! That sounds like a very big piece of Australian culture

Blair: It is easily the best festival in the country. As big as it's gotten, it's still an important festival about agriculture and industry at its core.

Andrew: I think that Nobeoka would benefit from having an international festival like these ones and sharing our culture with everyone.

Blair: Yeah, that would be nice!

アンドリュー：あと、サイドショー路地について聞きたいな。

ブレア：昔はマジシャンや力持ちの人やサーカスの曲芸師がそこにいたんだけど、今は動物のパレード、乗り物、そしてホットドッグやポテトフライのような料理があるんだ。祭りがとても人気で、祭りの7日がブリスベンで「ピープルス・デー」という祝日になった。10日間の間に約40万人がエッカに参加するんだ。子供たちに州の歴史を紹介するために、いろんな学校の先生が子供たちを連れてエッカに行くよ。

アンドリュー：すごいね。オーストラリアの文化の大切な部分だよな。

ブレア：オーストラリアの一番大切な祭りだと思う！これ以上ない大きな祭りだけど、今でも工業や農業についての大事な祭りだ。

アンドリュー：延岡にもこのような様々な国際イベントがあればいいと思う。出身の国の文化を延岡市民に紹介したいな。

ブレア：それがいいよね。

アンドリュー・ギブス



ホームタウン：アメリカ、ファイエットビル市
年齢：24歳
3年目のALT
延岡の好きな所：鏡山

ブレア・ニルソン



ホームタウン：オーストラリア、ブリスベン市
年齢：30歳
4年目のALT
身長：185cm
(中学1年生の時の身長は180cmでした！)

カリナ・ブリス



ホームタウン：ドイツ、アウグスブルク市
年齢：28歳
2年目の国際交流員
趣味：旅行、音楽、写真撮影など

Upcoming Events! これからの国際交流イベント

カリナと 「カラフルドイツ」 の絵を描いてみましょう!

わたしのドイツ 2017・ドイツ大使館・絵画コンテスト

8/19(土)
13:30~16:30

日時： 8月19日(土) 13:30~16:30

場所： 社会教育センター 3階 研修室6

持参物： 自分が使いたい道具（絵具、パレット、筆、色鉛筆、筆洗など） ※画用紙は不要

参加者： 小学生と中学生

(※原則、小学校低学年(2年生まで)は、保護者同伴)

(※定員に余裕がありますので、対象を広げます)

申込み： 延岡市役所国際交流推進室(総務課内)

申込み締切： 8月17日(木) 先着：40人
(※電話で申し込みしてください。)



ドイツ語講座 & ランチと国際交流フリートーク

日時： 8月9・23日(水) & 9月6・20日(水) 11時~13時

場所： 社会教育センター (会議室1)

⇒ ドイツ語講座：簡単なドイツ語の勉強

時間：11時~12時

⇒ ランチと国際交流フリートーク：ランチを食べながら、会話をしましょう!

時間：12時~13時 (*お弁当を持参してください。)

※申込み不要です。 ※8月のフリートークにALTも参加します。

カリナの楽しい料理教室!

「夏の料理」

日時： 9月10日(日) 10時~13時半

場所： 社会教育センター (調理室)

参加者： 中学生以上の方

参加費： 1,000円

申込み： 電話かメールでお申込みください。

締切： 9月7日(木) 先着16名

ドイツ語で話してみよう!

日時： 8月16日(水) 18時~19時

場所： 社会教育センター (研修室6)

内容： ドイツ人の国際交流員とドイツ語で様々なテーマについて話してみよう。

ドイツ語を楽しみながら、レベルアップできます!

8月のテーマは「趣味・自由時間」です。

参加者： ドイツ語で話してみたい方、参加してみてください! 聞くだけでも大丈夫です!
※申込み不要です。

連絡先 (申し込み・質問・コメントなど)

Tel. (0982) 22-7006 (総務課内)

Mail: kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

国際交流ニュースレター作者：カリナ・ブリス

出身：ドイツ、アウグスブルク市

2016年8月から延岡市の国際交流員

